

7月26日(日)発行

当日の感動を  
すぐお届け!!

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

## 熱きフェスタの 幕開けに乾杯!



7月25日(土) 東京交響楽団オープニングコンサート 撮影：青柳聡

今年も、真夏の暑さと共にミュージックの夏がやってきた。夏フェスだから暑くて当然・・・などと思いつつも、駅直結に感謝しながらホールへと向かう。席に座ってプログラムに目を向ければ、11回目を迎えた今年も、例年通り首都圏10のプロ・オーケストラが連日登場するほか、大学オーケストラにジャズバンドまでが参加する豪華な陣容。そのオープニングを飾ったのが、川崎市ランチャイズオーケストラの東京交響楽団だ。マエストロ飯森範親とピアニスト横山幸雄

が登場するや会場内のボルテージは最高潮。飯森のジャケットにひるがえる深紅の裏地と、横山が身に付けた純白のベストの好対照が目にも沁みる。フェスタはやっぱり華やかなのが一番だ。余裕しゃくしゃくで演奏されるショパンはまさにオープニングに相応しい。休憩をはさんだ後半は、人気指揮者ながら作曲家としてはなかなか認められなかったマーラーが、「いつかきっと自分の時代がくる」と語っていた時代に書き上げた交響曲第1番「巨人」。この力作が、遠い極東の

地日本のフェスティバルでオープニング・プログラムにまでなったことを知ったなら、マーラーもさぞや本望なのではないだろうかと思いつつながら分厚い響きに身を浸す。コンサートが終わって外に出れば、真夏の日差しが降り注ぐ川崎駅前。余韻に浸りながらのビールの味は格別だ。今日からの2週間はさらに熱い日々が続くこと間違いなし。フェスタはやっぱりこうありたいね。

クラシックソムリエ 田中 泰



マエストロ・飯森範親  
ピアニスト・横山幸雄

終演後、お二人からサインをいただきました。

7/25 東京交響楽団オープニング

### お客様の声から♪

1歳の娘を主人に預けて久し振りにクラシックを聴きに。やっぱり音楽は生で聴くのが一番ですね。迫力ある演奏に感動し、元気をもらいました。(36歳・主婦・ゆうかママ) / ファンファーレを聞くと、今年も夏がやってきたなと思います。コンチェルトもシンフォニーも素晴らしかったです。(60代・会社員・ようこ) / クラシック初心者でも楽しめ、少しわかるようになって楽しめ、詳しいお友達も満足する演奏にこれからも期待しています(59歳・主婦・レイ) / ホルンがかっこよかった。あれを見たらホルンを吹きたくなる人が増えるんじゃないかな…ハミル君最高!(笑)(48歳・会社員・のりまきせんべい)

## 19歳の気鋭レビュアー拓やん、サマーミュージックを往く!



平岡拓也・大学生(19)

### 真夏に響く二つのロマンティズム! 東京交響楽団 オープニングコンサート

サマーミュージック開幕!ホールを本拠とする東京交響楽団の秀演で、クラシック界を代表する『夏フェス』がいよいよ始まった。横山さん×飯森さん×東響は2010年のフィナーレのラヴェルでも魅せた組み合わせ、今回も王道のショパンを聴かせてくれた。全曲通したりハーサルのうち、飯森さんは終楽章でオケに細かなテンポ変化を指示。本番の演奏ではそこに推進力が

が加わり、軽やかな管楽器の強調が快かった。マーラー「巨人」は高カロリー、パワーを要する大曲。リハは最小限の修正に留め、本番でオケを爆発させた飯森さんの采配に拍手を。第2楽章中間部や第4楽章第2主題など、弦のユダヤ的な粘りに彼のロマンティズムを匂わせる濃厚な演奏となった。

平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

# 音と科学の実験室 夏ラボ 2015

7月31日まで開催 ミューザ川崎シンフォニーホール&東芝未来科学館 共同企画



7月24日には、ワークショップ「色で作曲、演奏してみよう!」を行いました。

ミューザ川崎シンフォニーホールと東芝未来科学館との共同企画として2014年からスタートしたこの企画。「音楽」と「科学」と一見違うジャンルのモノが一緒になったとき、そこに何が生まれるか!? この実験室では一人一人が想像して新しいモノを創り出す場所です。今年は「色と光と音」がテーマ! 光の三原色に反応して音を鳴らすことが出来る「楽器ロボ」や、音階を色分けした楽器「ドレミパイプ」に触れ合う事が出来る「音遊びコーナー」、創作コーナーでは「光るエッグマラカス」や「ECO楽器コーナー」もあります。

7月24日の初日からたくさんの家族連れでにぎわっていました! 7月28日には「ドレミパイプ」やたくさんの打楽器を使った楽しいコンサートもあります。出演は子ども達にも大人気の「パーカッション・アンサンブル・グループ・クラール」の皆さんです。(会場:市民交流室 11:30/13:30 入場無料、当日10:30から整理券配布) 音楽や科学が好きな人もそうでない人も、あたらしい想像の扉を開きにいらっしやいませんか? 子どもも大人も皆さんの参加をお待ちしています!(7月31日まで開室、7月27日休室)

パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ! 川崎!!**  
Enjoy Kawasaki

**沖縄料理 あしびなー**  
ミューザ川崎1階  
総合プログラムP.93  
パートナーショップガイドP.6



ミューザビル1階40番地までひときわ華やかな店構えの『あしびなー』。鳥唄が流れ、泡盛の瓶が並ぶ「遊び庭」という名前通りの気さくなお店です。多文化のまち・川崎には沖縄出身者も多く、沖縄料理や沖縄芸能はすっかりまちに馴染

んでいます。今回の私のお勧めは「海ぶどうと海鮮のサラダ」。琉球のキャビアといわれる海ぶどうの食感が楽しめます。ビタミンCの宝庫と言われるゴーヤも、チャンプルーの他、チッ

プスやお浸しも人気メニュー。オリオンビールの生や泡盛と合わせて楽しめば、気分は一気に南国の空へ飛んでいきます。沖縄そば、イカ墨焼きそばなど食事もできます。(山)

## NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ 文・オヤマダアツシ

7月27日(月) 19:30 開演  
**サマーナイト・ジャズ**

ピアノ、パイプオルガン、チェレスタ:  
佐山雅弘、ルドルフ・ルッツ

シング・シング・シング  
J.S. バッハ「インヴェンション」より  
テイク・ファイブ 他

ききどころ

今年の2月、ミューザのオルガンをを使って自由自在な即興演奏や厳粛なバッハの音楽を聴かせ、集まった聴衆を幸せにしてくれたルドルフ・ルッツが再び登場。バッハやメンデルスゾーンほかクラシカル・オルガンの世界的権威なのだが、彼の手にかかればクラシックもジャズもなく、しかも即興の名手だけに予想もつかない音楽が生まれるのだ。というわけで、迎え撃つのはおなじみ、これまでもミューザを素敵にジャズで満たしてきたピアニストの佐山雅弘。今年のサマーミュージカ屈指の、気軽に楽しめる一夜!

**全席指定: 2,500円**  
学生(25歳以下): 1,250円

### 友の会キャンペーン実施中

サマーミュージカ期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージカオリジナルチケットホルダーをプレゼント!(~8月9日まで)  
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で  
ミューザ川崎駐車場  
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

ホール内  
ショップで発売中

●サマーミュージカ  
チケットホルダー  
640円(税込)

チケットだけでなくA4チラシ  
三つ折も入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!

毎日  
**日刊サマ-ミュージカ**  
Hobo Nikkan Summer Muza



私たちがスタッフにとって最も夏の一大イベントである「サマーミュージカ」に2週間という短い期間に全19公演を行うために、オーケストラ公演が1日2公演入ることもあり、また、この日の楽屋裏は、バタバタとしており、1回目の公演が延びると、2回目の公演準備が遅れ、その分ハルサルが延長され、開場時間に影響してお客様にご迷惑をおかけしてしまっています。そこで1回目の出演団体には、公演時間が延びないようにプログラムを考えていただくようお願いすることもあります。また、終演後はできるだけ早く楽屋をあけていただくご協力もいただいております。(汗)

さて、2回目の出演団体は、1回目の公演が多少延びても、当初の予定どおり準備が終わるよう先に済ませておきたいというご希望をいただくことがあります。この場合、1回目の出演団体にご了承をいただき、リハーサルや本番に支障がでないように搬入します。このように、1日2公演の日は、スタッフ側にとって冷や汗ものです。それぞれの回で出演して下さる皆さまに快活に過ごしていただくように、いつも以上に連絡調整を小まめに行っています。

事業課 ぶ

スタッフ日誌